日本医療機能評価機構認定病院

美山だより

第３０号
２０１５．３

社団医療法人　啓愛会

美　山　病　院

〒023-0132　奥州市水沢区羽田町字水無沢４９５－２
ＴＥＬ　０１９７－２４－２１４１
ＦＡＸ　０１９７－２４－２１４４
URL　http://www.keiaikai-miyama.jp/

理　念

よき医療とやすらぎの環境

美山病院の基本方針

1・地域医療に貢献し、すべてのサービスに誇りと責任を持ち愛される病院になります。
2・医療人としてよりよい医療や看護が提供できるよう自己研鑽します。
3・安心した療養生活ができるように心の通った介護をいたします。
4・健全経営を確立し、常に個人と組織が向上する環境を保ちます。
5・病院組織をあげて医療の安全確保や感染対策に最善を尽くします。

目次

１Ｐ・・・緩和ケア病棟から見える風景　２Ｐ・・・院内感染対策の取り組み紹介
３Ｐ・・・獅子舞訪問／小正月行事　４Ｐ・・・リンパ浮腫外来初めて１年経過

院内感染対策の取り組みの紹介

美山病院では感染対策として、平成 26 年より面会規制の見直しを図りました。平成 26 年 12 月 16 日～27 年 1 月 4 日までは面会禁止（レベル4）を行い、ご家族様ならびに関係者様には大変御不便・御面倒をおかけいたしました。面会規制についてはインフルエンザ・ノロウイルスの地域での感染状況と、院内での発生状況を判断基準とし、レベル別にしています。そのレベルにより面会規制を変え、対応しております。

玄関にマスクの
自動販売機を用意

《面会規制基準》

分　類	対　応	判断基準
レベル4	〈面会制限〉 面会禁止（生死に関わる状況以外は全面禁止）	アウトブレイク （原因が同一での感染の発症）
レベル3	〈面会制限〉 面会禁止 ・自宅洗濯の家族対応は事務が窓口となり事務室前にて家族に渡す ・面会禁止の理由を説明し、感染リスクを踏まえても面会する理由があると判断した場合は面会に応じることもある	感染患者の入院又は院内の患者に 1 名発生した場合に発令 （疑わしい症状の場合は速やかにキットにて検査をする）
レベル2	〈面会制限〉 ・以下の方はご遠慮頂く ① 37 度以上の発熱、鼻水、のどの痛み、咳、下痢、嘔吐、腹痛などの症状がある方 ② ご家族以外の方 ③ 15 歳以下の方	県南、北上以南での感染状況に応じて発令
レベル1	流行のお知らせ　　注意喚起	毎年 11 月～3 月はポスターを掲示して周知徹底

その都度、レベルに応じた面会規制のお知らせを院内に掲示し、またホームページにも掲載しています。面会の際にご確認下さい。また、ご不明な点は遠慮なくお申し出下さい。面会時はマスク着用・手洗い・手指消毒をお願いします。

面会規制のお知らせ掲示

待合室も別々に対応

外来患者様につきましては、一般の方と発熱、下痢、嘔吐症状がある方の**待合室、診察室を別々にして対応**していますので、症状のある方はお申し出ください。今後とも当院では、感染対策に一層の努力をし、安心安全な病院を目指して参りますので、宜しくお願いします。

病院に獅子舞が訪問　２月８日 10 時 40 分

　毎年この時期になると、地元黒田助地区に伝わる民俗芸能「黒田助獅子舞」が病院に訪問してくれます。入院患者さんも特に初めての方は獅子舞の姿に真剣な眼差しで見入っており、刀役の方が獅子を追い払う仕草に、更に感動して頂きました。
　獅子に頭をかまれると、その年は無病息災で元気で過ごせるという 言い伝えもあり
ホールに行けない患者さんの為に病室に訪問し、少しでも元気になってと頭を噛んで頂いた。

（頭を噛んでもらいました）

緩和ケア病棟で小正月行事を開催

１月１５日に緩和ケア病棟で「水木だんご」の小正月行事が行われました。
参加者は患者さん７名と日勤スタッフで１つのテーブルを囲み、ピンク・緑・黄色のだんごを丸めるところから始めました。片栗粉をまぶしながら丸める作業は、粉だらけになりながらも手際よく行っていました。中には３個ずつ丸める人もいて、昔を懐かしみながら、和気あいあいと作業が進みました。
水木にだんごを飾り付けしたあとは、先生も加わり、栄養科で用意した豆腐入りのおだんごでお茶会をしました。また、童心に帰って頂き、福笑いも行いました。自分に似た顔を上手に作られ、皆さん笑顔で楽しまれていました。ベッドで参加された方や、面会に来た奥様と参加した方などそれぞれ良い時間を過ごされていました。最後は水木の前で写真を撮って欲しいという事で、一人ずつ写真撮影が始まり、とても楽しかったと喜んでいただけました。飾りつけた水木の小枝は、患者さんのお部屋にも飾られています。

水木飾りが見事に完成

昔を思い出しながら、今年も**豊作**で**皆がハッピー**であるように**願い**を込めて枝に付けました

昔取った杵柄
腕前は流石ですね

～リンパ浮腫の専門外来を始めて１年が経過～

リンパ浮腫外来が開設し、約１年が経過しました。１年間で２７名の患者様が受診されました。その中のほとんどの方がガン術後であり、上肢のリンパ浮腫患者様が多く施術に通われています。患者様の浮腫の程度は一人ひとり様々です。施術を受けていただく際、医師の診察を受けていただき、パンフレットや説明書を使用してリンパ浮腫とはどのような状態なのか？治療法についてや感染症について、日常生活で注意して欲しいことなど十分に説明を行っています。

患者様には施術開始後、浮腫の状態が安定するまでは、可能な限り１週間から２週間おきに通院していただき浮腫の状態をみながら徐々に３週間に１度、１ヶ月から２ヶ月に１度のペースで通院していただいています。一人ひとり患者様の状態に合わせて、ドレナージでリンパ液の流れをつくり、加えて弾性包帯や弾性着衣についての必要性の説明をしています。希望の方には弾性包帯や弾性着衣を購入していただき使用していただいています。また、自宅でも無理なくできるセルフケアの仕方の指導も行っています。

現在、定期的に通院されている患者様から、「**すごく楽になりました**」「**以前のようにむくむことがなくなりました。**」「**入らなかった指輪が入るようになり出かけるときおしゃれができるようになった**」など嬉しい言葉が最近多く聞かれます。しかし、中には体調を崩され通院されるのが難しくなられた患者様もいらっしゃいます。

今後もリンパ浮腫で悩み困っている方が正しい施術を受けられるよう技術を磨き、患者様一人ひとりに合わせた施術を提供していけるよう努力していきます。

私たちは平成２７年１月１日に**リンパ浮腫療法士（ＬＴ）**の認定を取得しました。

おめでとう！

＜リンパ浮腫療法士から一言＞

・要望があり土曜日も対応しますので、気軽に声をかけて下さい。

伊藤恵美

・むくみでお悩みの方は、諦めず美山病院リンパ浮腫外来へぜひ足を運んでみて下さい。力になれるよう頑張ります。

千田和実